

編 集 後 記

本号を、巻頭のことばでも記したように、われわれの教育研究所の創設に参画され、その後の発展の方向を導かれ、多年にわたってご指導いただいた、日高教育研究所初代所長、岡部教授、トロイヤー教授、お三人にお捧げするという願いをもって編集に努めました。しかし、編集委員の努力は、三先生の教育研究所発展へのご尽瘁に到底くらべられるものではなく、記念号とはいえ、ささやかなものとなりました。ともあれ、三先生の今後のご壮健をお祈りするとともに、これまでのご尽力に対して、編集委員一同心から御礼申し上げます。そして、なお今後のご指導をもあわせてお願いする次第です。

この号が三先生の記念号ということから、例年になく、多くの論文が寄せられました。しかし、紙数の制限から、数人の方には掲載を次号にまわしていただき、また一部の掲載論文では短かくしていただきました。失礼をお許しいただきたいとおもいます。

なお、校正の段階に入った頃、大学が異常な事態となりました。このことから、印刷所との連絡、校正を引き受けていただいた本研究所の秘書、真壁知子、岡本知子、岩田みよの諸氏に感謝の意を表するとともに、本誌の刊行に対する大学内外のご支援に対しても深く感謝の意を表します。

(編集委員：小島，都留，讃岐，川瀬，中野)